

所属名	事務事業名	ページ番号
文化財課	三重津海軍所跡整備事業	2
文化財課	文化財保存管理事業	3
文化財課	指定文化財等保存事業	4
文化財課	葉隠発祥の地維持管理事業	5
文化財課	市内遺跡公開活用事業	6
文化財課	丸山遺跡補修事業	7
文化財課	地域文化財総合活用推進事業	8
文化財課	肥前国庁跡保存管理事業	9
文化財課	東名遺跡保存管理事業	10
文化財課	東名遺跡史跡整備事業	11
文化財課	地域文化保存・継承支援事業	12
文化財課	市内遺跡発掘調査事業（国庫補助事業）	13
文化財課	出土遺物保存処理事業	14
文化財課	東名遺跡（国庫）分経費	15
文化財課	世界遺産関連分経費（国庫補助事業）	16
文化財課	圃場整備地区内遺跡発掘調査事業	17
文化財課	久保泉工業団地建設に伴う発掘調査事業	18
文化財課	世界遺産関連分経費	19
文化財課	精煉方跡発掘調査経費	20
文化財課	七ヶ瀬遺跡発掘調査	21
文化財課	東高木三本松遺跡	22
文化財課	緊急発掘調査分経費	23

令和5年度 公共事業進捗報告シート

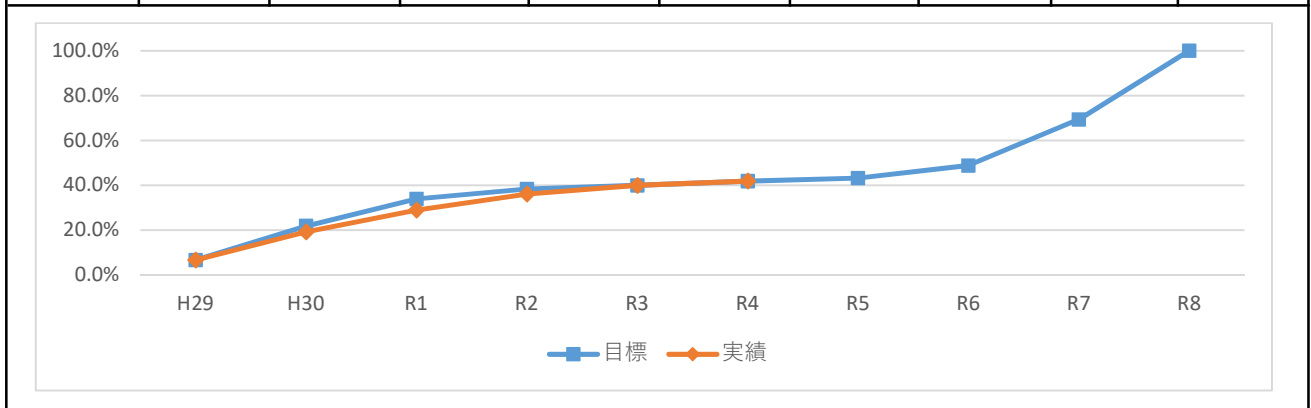
公共事業名	三重津海軍所跡整備事業	事業期間	平成 29 ~ 令和 8 年度
担当部署・係名	文化財課 史跡整備係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 公共事業の基本情報

整備概要	平成29年度に策定した「三重津海軍所跡の保存・整備・活用に関する計画」に基づき、史跡の現地整備・整備報告書の作成・地下水モニタリング・駐車場の移転整備を実施する。				
整備の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下遺構である三重津海軍所跡の「見える化」を行い、史跡の全体像の理解増進を図る。</li> <li>史跡の保存強化。</li> </ul>				
<b>事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
工事請負費	0	26,760		37,313	3,208
測量・監理等委託料	10,046	40,416	54,610	2,099	2,654
用地購入費	28,644				
補償費				783	
その他事務費等	580	4,097	2,128		2,171
計	39,270	71,273	56,738	40,195	8,033
うち佐賀市の負担	5,640	32,496	32,021	5,324	6,811
区分	R4年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費	110				67,391
測量・監理等委託料	7,558				117,383
用地購入費					28,644
補償費					783
その他事務費等	549				9,525
計	8,217				223,726
うち佐賀市の負担	3,219				85,511

2 事業の進捗率

H29	目標	H30	目標	R1	目標	R2	目標	R3	目標	R4	目標	R5	目標	R6	目標	R7	目標	R8	目標
	実績		実績		実績		実績		実績		実績		実績		実績		実績		実績
	6.6%		21.8%		33.9%		38.4%		40.0%		41.8%		43.2%		48.8%		69.4%		100.0%
	6.8%		19.2%		29.0%		36.0%		40.0%		41.8%								



令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	文化財保存管理事業	事業期間	昭和 41 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 総務企画係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市内に所在する指定文化財等の適正な保存・維持・管理を行うことにより、文化財等の活用を図る。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	指定文化財等の適正な保存・維持のための経常的維持管理。 (除草・清掃作業、防災・消防設備点検、警備業務の委託等。)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,885	7,174	9,281		
うち佐賀市の負担額	956	589	353		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
適切に維持保全された文化財数						件
R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
229	231 238	240 243	242	244	244	
成果指標②						単位
不具合・トラブルの件数						件
R2 実績	R3 実績	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
6	6 9	6 9	6	6	6	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	「適切に維持保全された文化財数」については、指定文化財の増加により、令和4年度目標を上回ったものの、数多くある文化財説明板等の老朽化が進んでいることもありトラブルの件数が目標値（上限値）を上回った。引き続き文化財の適切な維持管理のため随時現地確認や情報収集等を行い、早めの対策に努める。



成果目標達成に向けた対応策等
本事業は、指定文化財の適正な保存・維持・管理が主であり、今後も現状の継続的な維持管理を行っていく。一部、文化財の説明板等に老朽化しているものがあり、今後も順次確認や修繕を行っていく必要がある。

## 令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	指定文化財等保存事業	事業期間	昭和 41 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 総務企画係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	①佐賀市所在の指定文化財の適切な保存を図ることを目的に、主として保存修理事業等を行う。佐賀市指定の場合は単独補助、国県指定の場合は継足補助を行う。 ②無形民俗文化財の継承支援のため、保存団体等の実施する無形民俗文化財継承事業に対して補助を行う。(対象団体：13団体)				
事業の対象者	指定文化財所有者、指定無形民俗文化財保存団体				
令和4年度 主な活動実績	①重要文化財保存修理1件、重要文化財管理補助2件、佐賀市文化財保存事業費補助1件 「吉村家住宅」、「山口家住宅」、「与賀神社楼門」、「新北神社楠木No.1」 ②12の指定無形文化財(7件(7団体))に対し補助金を交付 「白鬚神社の田楽」「見島のカセドリ」「市川の天衝舞浮立」「浮立玄蕃一流」「高木八幡ねじり浮立」「東与賀銭太鼓」「快万浮立」				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,289	1,454	6,541		
うち佐賀市の負担額	1,648	792	1,522		

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市所在指定・登録文化財数						件
R2 実績	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績	R6 目標
229	231	240	238	242	243	244
成果指標②						単位
指定無形民俗文化財継承支援の補助件数						件
R2 実績	R3 実績	R4 目標	R4 実績	R5 目標	R5 実績	R6 目標
7	12	12	5	12	7	12

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	指定・登録文化財の増加により「佐賀市所在指定・登録文化財数」は令和4年度目標を上回った。「指定無形民俗文化財継承支援の補助件数」については、補助実施体制を整えていたものの、令和4年度もコロナ禍による中止により補助に至らなかった団体があった。

#### 成果目標達成に向けた対応策等

文化財保存事業は文化財所有者による実施が基本原則であり、本市が適切な補助を行うことは条例に定められており、今後も同様の事業展開を基本とする。また、所有者には事前の相談と計画的な補助金の活用をお願いし、補助事業は限られた予算内での実施になるため、所有者負担の軽減や保存・継承の促進のためには民間助成金制度の利用も促している。無形民俗文化財については、令和3年度から若干増加し、今後も行事復活の兆しがみえつつあるとはいえ、今後もコロナ禍等の状況下でも継承が途絶えないように保存団体と課題・問題を協議・検討していく必要がある。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	葉隠発祥の地維持管理事業	事業期間	昭和 47 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 総務企画係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市指定の史跡である「葉隠発祥の地」を良好な状態に保つため、維持管理（清掃、除草等）を地元自治会等に委託して行っている。				
事業の対象者	市民				
令和4年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元自治会等に委託し、除草、雑木の剪定、樹木の消毒、清掃などの管理を行った。保存管理日数実績（R4）：66日</li> <li>・老朽化で通りにくくなっていた園路について、園路の改修を行った。園路端の木枠の再設置、園路途中の乱斗山古墳への階段補修、園路周辺樹木の剪定</li> </ul>				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,064	3,022	5,870		
うち佐賀市の負担額	3,064	3,022	5,870		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
施設等への苦情件数						件
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
2	0 2	0 2	0	0		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	<p>管理対象範囲が広く、樹木の繁茂による近隣への影響が出やすく、また風水害等による被害も生じやすいため、随時現地確認や情報収集等を行い、早めの対策に努める必要がある。</p> <p>令和4年度は一部ではあるが、通りにくくなっていた園路の改修を行い、見学者が安全に通ることができるようになり、史跡環境の改善ができた。</p> <p>目標値に至っていないものの苦情件数はここ数年2件にとどまっている。</p>



成果目標達成に向けた対応策等
<p>史跡の維持管理は、地元自治会等により適切に管理されている。多額の経費を必要とすることから一度に大規模な改修は困難だが、可能な限り史跡環境の改善を図り、今後も、さらに訪問者が利用しやすい環境整備を行っていきたい。また、史跡の活用方法やあり方等についても検討する。</p>

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市内遺跡公開活用事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 史跡整備係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	発掘調査で得られた資料を広く市民に公開活用するため、展示解説や体験学習・講演会などを開催する。主に東名遺跡をとりあげ、全国的に見ても大変貴重であるこの遺跡の重要性を市民に知らせ周知化を図る。市内の小中学校で東名出土遺物の展示や出前授業をおこない、教科書にも取り上げられているこの遺跡についての理解を深める。体験学習を通して、縄文時代の生活を追体験することで、遺跡についての関心を持たせる。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校での出前授業</li> <li>・東名遺跡出土遺物に関する企画展や体験学習</li> <li>・東名遺跡、縄文時代に関連する講座</li> <li>・肥前国庁講座及び企画展</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,000	2,000	2,000		
うち佐賀市の負担額	640	640	640		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベントへの参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
15,090	15,200 30,038	30,500 26,318	31,000	31,500		

成果指標②						単位
イベントに参加して遺跡の重要性を認識した割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
66	68 79	80 86	82	85		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	前年度と比べ、イベント数が少なかった分、参加者実績が減少しているが、個々のイベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に薄れ、参加者が増加したものと考えられる。



成果目標達成に向けた対応策等
イベントが固定化しつつあり、参加者の裾野を広げるためにも、内容の更新や新たな事業の創出が必要である。

令和5年度 公共事業進捗報告シート

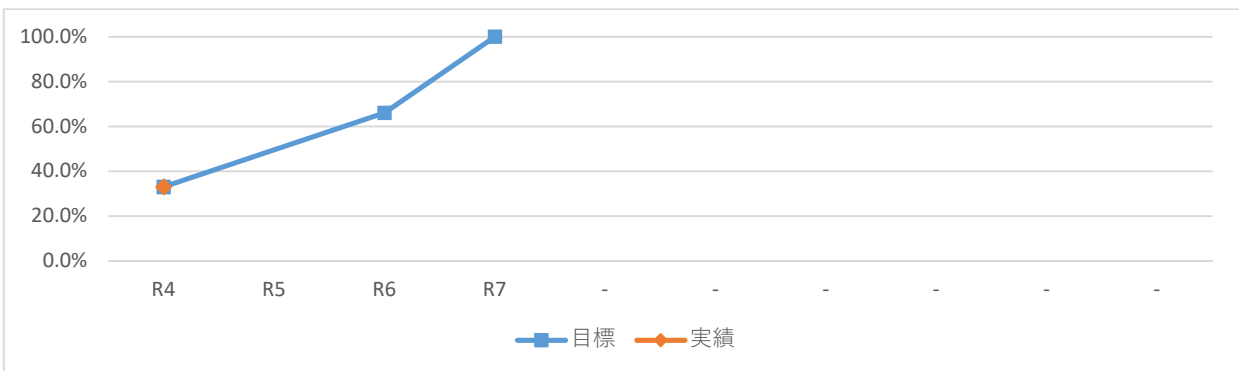
公共事業名	丸山遺跡補修事業	事業期間	令和 4 ~ 令和 7 年度
担当部署・係名	文化財課 総務企画係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 公共事業の基本情報

整備概要	久保丸山遺跡の施設のうち、表層等の劣化が進んでいる4号墳、5号墳及び6号墳について、順次墳丘墓等の復旧工事を行う。				
整備の目的	文化財を保存・管理・活用することにより、市民への適切な公開等を図る。				
事業費決算(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R 4 年度	年度	年度	年度	年度
工事請負費	3,707				
測量・監理等委託料					
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計	3,707				
うち佐賀市の負担	3,707				
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					3,707
測量・監理等委託料					
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計					3,707
うち佐賀市の負担					3,707

2 事業の進捗率

R4	目標 実績	R5	目標 実績	R6	目標 実績	R7	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	33.0% 33.0%				66.0%		100.0%					



令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	地域文化財総合活用推進事業	事業期間	令和 元 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	文化財課 総務企画係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	指定無形民俗文化財の代表者等で構成される佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会が作成する映像記録（継承用及び普及用）作成事業に対して補助を行う。 ①継承用：準備から本番、片付けまでの流れを映像で記録し、継承のために各保存会を中心に活用する。 ②普及用：各地域の無形民俗文化財を広く情報発信するため、継承用映像の短縮版を作成し、HPや公共施設等での公開、保存会が行う普及活動にも活用する。
事業の対象者	佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会、指定無形民俗文化財保存会、市民
令和4年度主な活動実績	佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会が実施した指定無形民俗文化財2件（白鬚神社の田楽、東与賀銭太鼓）の継承用及び普及用映像記録作成事業に対して補助を行った。

決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない

区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	0	0	2,501		
うち佐賀市の負担額	0	0	1		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
各保存会の会員数（維持）						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
462	462 462	462 462	462			

成果指標②						単位
地域の伝統行事等への来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	5100 0	5400 1195	5400			

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	令和2年度及び3年度においてはコロナ禍により佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会を構成する全保存会において行事が中止となったため成果指標②はゼロ値となり、令和4年度においては、コロナ禍の終息がまだ見通せない中、保存会や地域の危機意識及び伝統を絶やしたくないという意識の高まりにより7保存会が行事の実施を決定したものの、依然としてコロナ禍の影響により目標には遠く及ばない見学者数となった。 しかし、行事参加者にとっては伝統の継承の重要性をより実感する機会となっており、成果指標①の会員数については維持されている。

成果目標達成に向けた対応策等

作成した映像記録を各保存会の活動や市の広報媒体等において活用することで、各地域でこれらの無形民俗文化財を地域固有の文化としてまちづくりに生かしていくという機運を高め、また、行政と保存会等が協力しながら、コロナ禍においても可能な形での情報発信を行い、さらにコロナ終息後においては以前のような行事の実施を復活させ、これらを一層情報発信していくことでより効果的な事業の成果を目指していく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	肥前国庁跡保存管理事業	事業期間	平成 17 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 調査係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	肥前国庁は奈良～平安時代にかけての約200年間この地に存在し、肥前国（佐賀・長崎）を統括した役所の跡で、国の史跡に指定されている。南門跡の復元や、ガイダンス施設が整備され、施設の管理するとともに、歴史教育や生涯学習の場として企画展・講座・芸能祭等を実施し活用を図っている。				
事業の対象者	市民				
令和4年度主な活動実績	肥前国庁跡歴史公園及び肥前国庁跡史料館の適正な管理のための経常的維持管理。（資料館の運営管理、公園内の除草、資料館の清掃作業・防災・消防設備点検・警備業務の委託等） 南門をライトアップした芸能祭の実施。 資料館での企画展・講座等を実施。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	9,735	9,853	9,923		
うち佐賀市の負担額	4,438	2,856	199		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
肥前国庁跡史料館入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,863	2,500 2,685	2,900 2,222	3,000	3,100		

成果指標②						単位
肥前国庁跡史料館子どもの入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
109	150 789	850 249	900	950		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	小学校用パンフレットを作成し市内小学校に配布したこと、民具展示を行い小学3年生の授業への活用案内を行ったが、コロナの影響で小学生の来館者は伸びなやんだ。今後より幅広い年齢層への周知と活用を促進する必要がある。



成果目標達成に向けた対応策等
肥前国庁跡の適正な保存・維持・管理を行っていくとともに、肥前国庁について市民に周知し、一層の活用を図る必要がある。入館者増を図るため、幅広い年齢層に来館いただけるように地元との協働したイベント、親子体験学習等のイベントを検討する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	東名遺跡保存管理事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 史跡整備係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	国史跡である東名遺跡の適切な保存管理及び活用を図る。				
事業の対象者	市民、東名縄文館の利用者				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存環境を監視するモニタリング調査の実施</li> <li>・史跡地の除草管理及び東名縄文館の運営</li> </ul>				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,952	6,677	6,183		
うち佐賀市の負担額	3,703	2,281	105		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
東名縄文館の入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,500	1,600 1,832	2,000 2,718	2,200	2,400		

成果指標②						単位
モニタリング調査における異常値検出回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
0	0 0	0 0	0	0		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	新型コロナウイルス感染症の影響が薄れ、東名縄文館への来館者が増加している。



成果目標達成に向けた対応策等
東名遺跡を恒久的に保存・継承していくため、適切な維持管理を継続していく必要がある。 現在進めている史跡整備事業を視野に入れ、東名縄文館と史跡地を連携させた活用方法を検討していく必要がある。

令和5年度 公共事業進捗報告シート

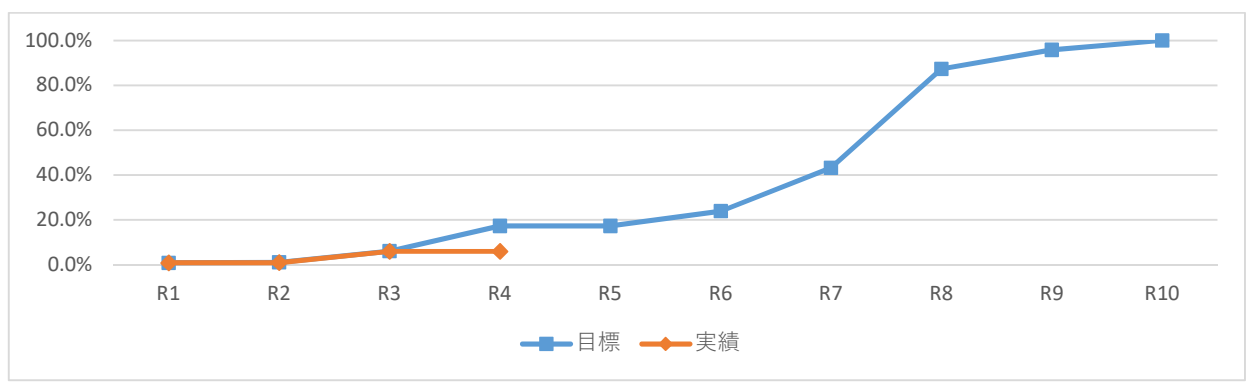
公共事業名	東名遺跡史跡整備事業		事業期間	平成 30 ~ 令和 10 年度
担当部署・係名	文化財課 史跡整備係		担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	28未来につなげる文化の振興		
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用		

1 公共事業の基本情報

整備概要	東名遺跡ガイダンス施設の設置及び現地整備を行う。				
整備の目的	史跡東名遺跡の適切な保存・活用を図るため。				
事業費決算 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
工事請負費				2,115	
測量・監理等委託料	5,054	3,355	1,458	191	6,209
用地購入費				57,479	
補償費				95	
その他事務費等	446	731		46	425
計	5,500	4,086	1,458	59,926	6,634
うち佐賀市の負担	1,760	1,960	1,458	6,026	5,532
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					2,115
測量・監理等委託料					16,267
用地購入費					57,479
補償費					95
その他事務費等					1,648
計					77,604
うち佐賀市の負担					16,736

2 事業の進捗率

目標 R1 実績	目標 R2 実績	目標 R3 実績	目標 R4 実績	目標 R5 実績	目標 R6 実績	目標 R7 実績	目標 R8 実績	目標 R9 実績	目標 R10 実績
0.8%	1.0%	6.0%	17.2%	17.2%	23.9%	43.1%	87.3%	95.8%	100.0%
0.8%	0.9%	5.9%	5.9%						



令和5年度 事務事業進捗報告シート

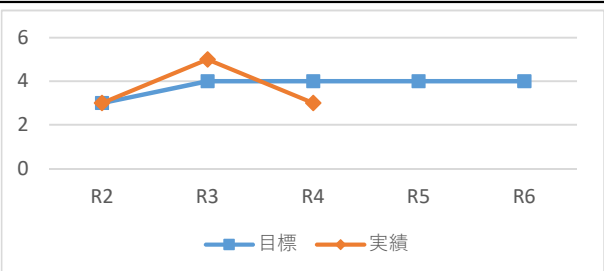
<b>事務事業名</b>	地域文化保存・継承支援事業	<b>事業期間</b>	平成 21 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	文化財課 総務企画係	<b>担当課長名</b>	北島 健二
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	<b>施策</b>	28未来につなげる文化の振興	
	<b>基本事業</b>	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

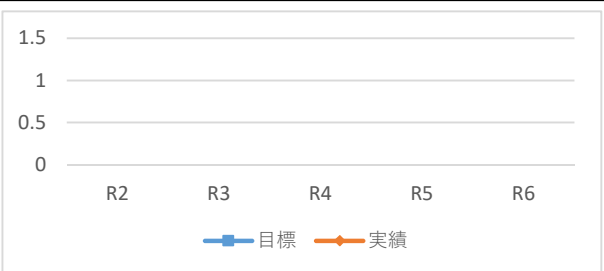
<b>事業概要・目的</b>	佐賀市固有の生活文化や歴史・文化などを次世代に引き継ぐため、次の対象事業①②に対し、補助金を交付する。補助金の交付にあたっては、申請案件を地域文化支援審査会に諮り、決定する。 ①地域資源の保存又は継承につながる自主的な事業（経費の2/3以内で上限30万円の補助） ②地域の伝統芸能等に係る用具の修繕、購入、復元等を行う事業（経費の1/3以内で上限30万円の補助）				
<b>事業の対象者</b>	地域住民で組織された団体や佐賀市に拠点がある市民活動団体				
<b>令和4年度主な活動実績</b>	高木瀬まちづくり協議会（高木瀬歴史散歩マップ作成）、新田自治会（新田天満宮烏居補修事業）及び下早自治会一班（東崎ヶ江地藏堂改修）の3団体に対して補助を行い、その事業を支援した。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	2,261	1,653	1,505		
うち佐賀市の負担額	829	216	0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
保存・活用された資源の数						件
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績
3	4	4	4	4	5	3



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	市報、ホームページのほか、校区公民館への周知も行い、事前相談は10件ほどあったものの、申請に至ったものは3件に留まり、目標を下回った。



成果目標達成に向けた対応策等
令和4年度は事前相談件数は多かったものの、交付対象とならない事業であったり、必ずしも4年度に必要な事業ではなかったものもあり、実際に申請に至ったものは少なかった。また、依然としてコロナ禍が収束していないことが影響しているためか、令和3年度と同様に地域の伝統芸能等に係る用具の修繕、購入、復元等を行う事業の申請は少なかったため、引き続き様々な団体に事業を活用してもらえるよう、より分かりやすい形での周知を図っていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

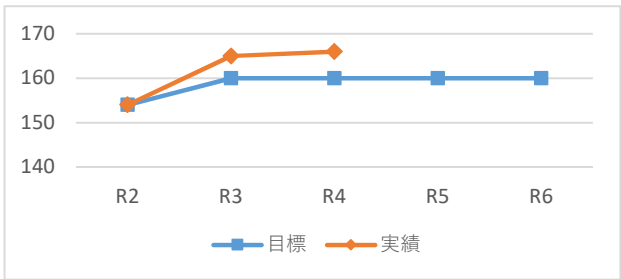
事務事業名	市内遺跡発掘調査事業（国庫補助事業）	事業期間	平成 元 ～ 年度
担当部署・係名	文化財課 調査係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

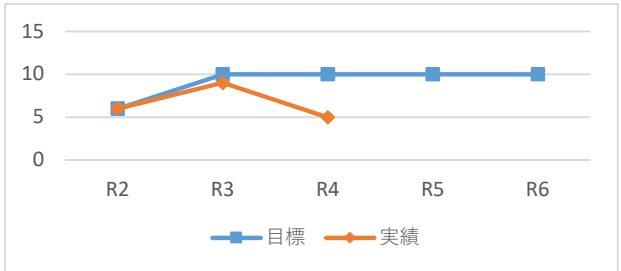
事業概要・目的	開発行為前に埋蔵文化財の有無・内容を確認する予備調査、破壊が避けられない場合は発掘調査を実施。個人住宅や個人経営の店舗建設等については、過度の負担をお願いできないものは、本事業により発掘調査を実施する事で経費負担の軽減を行っている。				
事業の対象者	市民				
令和4年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡の保存措置について開発側と協議をおこない、できる限り現状保存を行った。</li> <li>・発掘調査の報告書を作成</li> </ul>				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	24,154	32,856	29,140		
うち佐賀市の負担額	3,889	10,513	9,325		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
確認調査件数						件
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績
154	160	160	160	160	165	166



成果指標②						単位
本調査件数						件
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	R4 実績
6	10	10	10	10	9	5



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	最も多い調査は個人住宅の建設に係るものが多く、開発と調整との適切なスケジュール調整に努める。



成果目標達成に向けた対応策等
最も多い調査は個人住宅の建設に係るものが多く、申請者と建設会社にご理解をいただいた上、入居時期等に影響がないスケジュール調整に努める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	出土遺物保存処理事業	事業期間	平成 9 ~ 令和 年度
担当部署・係名	文化財課 史跡整備係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	発掘調査によって得られた遺物のうち、木製品や金属製品等は脆弱で通常の保管方法では劣化が進行してしまうため、専門機関に保存処理を委託する。平成21年度以降は、東名遺跡で出土した木製品や編みかごの保存処理を実施している。				
事業の対象者	市民、木製品等の脆弱遺物				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>発掘調査で出土した重要遺物に保存処置を施し、その恒久的保存を図った。</li> <li>東名遺跡出土木製品等（11点）の保存処理を行った。</li> </ul>				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,400	3,680	2,420		
うち佐賀市の負担額	2,368	1,178	775		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
保存処理の進捗率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
56	57 57	58 58	59	61		

成果指標②						単位
保存処理遺物の展示点数						点
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
27	30 33	35 35	40	45		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	処理遺物の増加とともに、保存処理遺物を展示する機会が増加した。



成果目標達成に向けた対応策等
保存処理済遺物の保管環境については良好とは言えないため、適正な施設の整備を急ぎたい。企画展等で積極的な展示公開を図る必要がある。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	東名遺跡（国庫）分経費	事業期間	平成 21 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	文化財課 史跡整備係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	東名遺跡の総合的な価値づけを行うため、出土遺物の整理や各種分析調査を実施し、その成果を掲載した報告書を作成する。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東名遺跡出土遺物の整理作業</li> <li>・研究機関への委託による植物性遺物の調査</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,970	3,680	5,000		
うち佐賀市の負担額	1,270	1,178	1,600		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
報告書作成（整理作業）の進捗状況						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
70	75 73	80 77	90	100		

年度	目標	実績
R2	70	70
R3	75	73
R4	80	77
R5	90	
R6	100	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	文化庁補助金の減額により、当初計画より作業がやや遅れている。



成果目標達成に向けた対応策等
遺跡の持つ本質的価値を明らかにするため、様々な分野での調査研究を進めると同時に、その成果を迅速に公開し活用する必要がある。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	世界遺産関連分経費（国庫補助事業）	事業期間	平成 21 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	文化財課 史跡整備係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つである史跡三重津海軍所跡の整備活用に向けた調査研究の蓄積及び幕末佐賀藩産業遺跡の調査を進める。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	史跡三重津海軍所跡の整理調査を実施し、「佐賀市重要産業遺跡関係調査報告書第13集」として三重津海軍所跡25区の発掘調査報告書を刊行した。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	17,180	13,150	9,440		
うち佐賀市の負担額	5,498	4,208	3,035		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
報告書作成進捗(三重津海軍所跡)						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	35 35	50 50	80	100		

成果指標②						単位
						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	予定していた重要産業遺跡関係調査報告書13集を刊行した。



成果目標達成に向けた対応策等
今後の整備や活用等に向けて、遺跡の価値付けの調査を計画的に継続する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	圃場整備地区内遺跡発掘調査事業	<b>事業期間</b>	令和 4 ~ 令和 6 年度
<b>担当部署・係名</b>	文化財課 調査係	<b>担当課長名</b>	北島 健二
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	<b>施策</b>	28未来につなげる文化の振興	
	<b>基本事業</b>	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	高木瀬地区圃場整備事業に伴う小里一本松遺跡2区・小里一本松東遺跡1区・2区の記録保存を目的とした発掘調査を行った。令和5年度には小里一本松東遺跡3区の発掘調査を実施し、令和6年度に同地区の整理作業・報告書の作成を実施し、遺跡の記録保存を完了する。 (R4年度：現地調査 R5年度：現地調査・整理調査・報告書作成 R6年度：整理調査・報告書作成)				
<b>事業の対象者</b>	市民				
<b>令和4年度主な活動実績</b>	小里一本松遺跡2区・小里一本松東遺跡1区・2区の記録保存を目的とした発掘調査を行った。調査面積1,130㎡(内訳：国庫分：141㎡ 県委託分：989㎡)				
<b>決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>			12,480		
<b>うち佐賀市の負担額</b>			500		

2 成果指標の目標及び実績

<b>成果指標①</b>						<b>単位</b>	
進捗状況(記録保存)						%	
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績			
		40 40	80	100			
<b>成果指標②</b>						<b>単位</b>	
調査面積						㎡	
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績			
		1,130 1,130	1,320				

3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
①達成している	令和4年度は、予定された1,130㎡の発掘調査を完了している。



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
令和5年度は、令和4年度に実施した小里一本松遺跡2区・小里一本松東遺跡1区・2区の整理調査と報告書作成を実施する。また、残された1,320㎡(小里一本松東遺跡3区)の発掘調査を実施し、令和6年度に調査成果を正確に伝える内容の報告書を作成し、調査の充実を図っていく。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	久保泉工業団地建設に伴う発掘調査事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 史跡整備係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	報告書未刊となっている調査区について、整理調査及び報告書作成を行い、久保泉工業団地関係発掘調査を完了させる。発掘調査を実施した遺跡についての基本となる資料を公表することにより、それが今後の調査・研究の一助となり、その成果等により、一般市民の歴史、文化及び文化財保護についての理解の深化が図られる。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	整理調査及び報告書作成				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,757	1,296	662		
うち佐賀市の負担額	1,753	1,292	660		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
報告書作成の進捗						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
94	94 94	94 94	97	97		

Year	Target (%)	Actual (%)
R2	94	94
R3	94	94
R4	94	94
R5	97	97
R6	97	97

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Year	Target	Actual
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	1.0	1.0
R6	1.0	1.0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	作業によっては進捗にばらつきはあるものの、概ね順調に進んでいる。



成果目標達成に向けた対応策等
事業完了に向けて計画的に作業を進める。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	世界遺産関連分経費	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 史跡整備係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	『明治日本の産業革命遺産』の構成資産の一つである史跡三重津海軍所跡の整備活用及び幕末佐賀藩産業遺産関連の文献調査。 史跡三重津海軍所跡の管理				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕末佐賀藩産業遺産関連の文献調査</li> <li>史跡三重津海軍所跡除草</li> </ul>				
<b>決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	7,889	8,623	8,934		
うち佐賀市の負担額	7,889	8,623	8,934		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
三重津海軍所跡関連文献調査の進捗率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
60	70 70	80 80	90	100		

成果指標②						単位
精煉方跡関連文献調査の進捗率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
10	10 10	15 15	20	25		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	三重津海軍所跡の文献調査は概ね計画的に進んでいる。



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
三重津海軍所跡以外の幕末産業遺産について、遺跡の価値付けのため、発掘調査と連動した文献調査の年次計画を策定する。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	精煉方跡発掘調査経費	事業期間	平成 30 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 調査係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	幕末佐賀藩産業遺産の一つである精煉方跡について、遺跡の性格を解明するための発掘調査等を進める。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	発掘調査及び出土遺物等の整理				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,954	1,273	4,713		
うち佐賀市の負担額	2,954	1,273	4,713		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
事業の進捗率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	10 10	20 20	30	40		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	精煉方跡に関しては、今後計画的な確認調査と整理調査を実施する必要がある。



成果目標達成に向けた対応策等
今後の整備や活用等に向けての具体的な調査計画の策定。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	七ヶ瀬遺跡発掘調査	事業期間	令和 元 ~ 令和 6 年度
担当部署・係名	文化財課 調査係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀コロニー跡地県営産業用地造成事業に係る埋蔵文化財調査 R1～R3年度：現地調査(4100㎡) (※遺跡の重要性から現地保存が決定し事業内容を変更したため、発掘調査はR3まで) R2～R6年度：報告書作成				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺物洗浄作業及び一部整理作業の業務委託を実施</li> <li>・各研究機関に受託研究を依頼し、遺物の保存修復作業等を実施</li> </ul>				
<b>決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	61,976	30,103	22,316		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
調査面積						㎡
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3,000	100 100					

成果指標②						単位
報告書作成 (整理作業) の進捗状況						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
30	50 45	60 60	80	100		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	予定していた整理作業（遺物・土壌洗浄、接合、実測）、業務委託は概ね実施できた。現地の発掘調査は令和3年度で終了したため、令和4年度以降は現地調査を行わない。



成果目標達成に向けた対応策等
令和6年度の報告書の刊行に向けて、整理作業を進めるとともに各種調査研究、業務委託等を実施し計画的に事業を進める必要がある。

令和5年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	東高木三本松遺跡発掘調査	事業期間	令和 4 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	文化財課 調査係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀川久保鳥栖線(高木瀬工区)の路線上の遺跡の発掘調査。令和4年度は現地調査、令和5年度に整理調査を実施予定である。				
事業の対象者	市民				
令和4年度 主な活動実績	新規に発見された遺跡で、調査面積は2520㎡。記録保存を目的とした発掘調査を実施した。				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額			14,080		
うち佐賀市の負担額			0		

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
事業の進捗状況						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
		60 60	100			

成果指標②						単位
調査面積						㎡
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
		2,520 2,520				

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和4年度は基準値となるため、令和5年度の実績結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
令和5年度に整理調査を実施し、報告書を作成する。

令和5年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	緊急発掘調査分経費	事業期間	平成 元 ~ 年度
担当部署・係名	文化財課 調査係	担当課長名	北島 健二
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	緊急的に発生した民間開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査及び報告書作成。 緊急的な発掘調査を迅速且つ滞りなく実施する。 また、記録保存として発掘調査報告書を作成・刊行し、調査成果を公開する。				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	文化財保護法				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	498	1,552	624		
うち佐賀市の負担額	0	0	0		

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
民間開発に伴う発掘調査					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
1	2	1			

活動実績②					単位
調査面積					m <sup>2</sup>
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
30	604	40			

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

事業予測が立てにくいため、民間開発業者の計画を事前に把握し、スケジュール調整を図りながら事業を進めたい。
--